

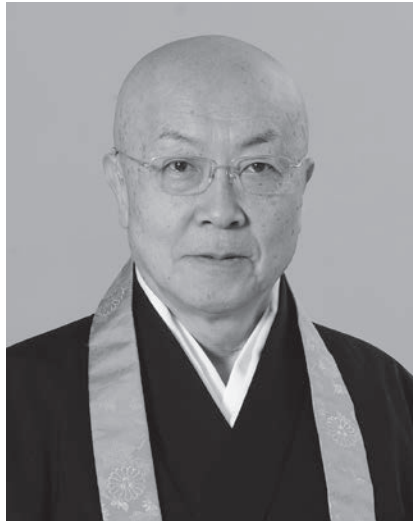


一般社団法人 大日本武徳会

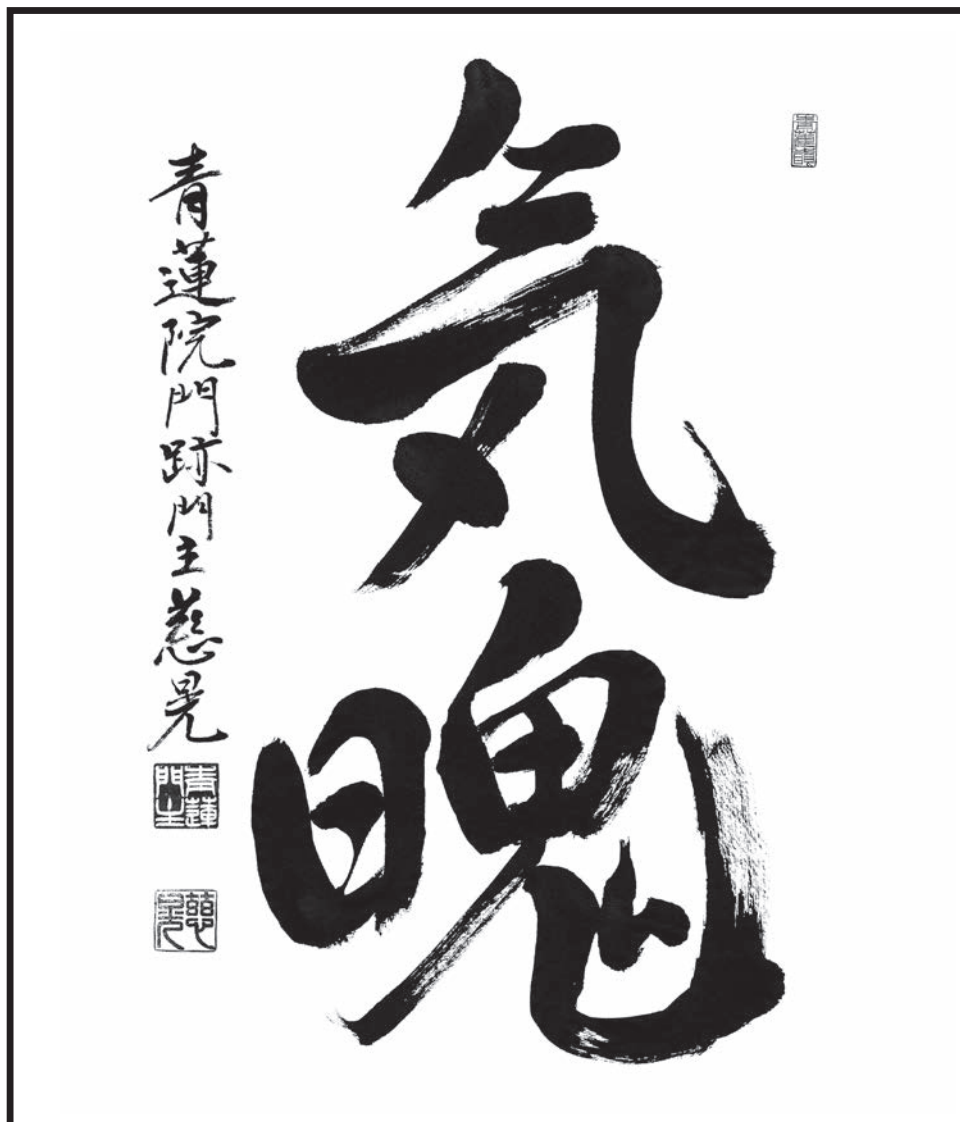
会報 **武徳**

2018.4 春季号





一般社団法人 大日本武徳会



二〇一八年の指針

代表理事 濱田 鉄心

平成の時代が今年で終わりを告げます。私達は改めて襲古還新の精神に則り、次の時代に向けて日本の国全体や本会発展のために、気魄を込めて真剣に考え、実行して行かなければならないと思います。

当会は、二〇一二年に法人化して今年で六年目を迎えることになりました。法人化して以来短期間の間に恒例の年間主催行事のみならず、国際的な特別行事として、第五十回全国武徳祭記念行事や、第五回世界武徳祭、日英同盟百一周年記念英国武徳祭、アメリカ支部五十年記念武徳祭、日仏協定百周年記念フランス武徳祭、英仏において国際青少年武徳祭、さらに本会としては初めての第一回伊勢神宮奉納古武道演武大会などの、画期的な主催事業を実施してきました。それぞれの事業の中で、多くの計り知れない成果と感動が生まれたことは言うまでもありません。本会が目指すところの目的趣旨は、その実行に関して常に忠実に、武徳の一貫性を貫いてきたと思われまます。

しかしながら、未来に向けて創立百二十三年の栄光の歴史と伝統を如何にして守り発展させていくか、その守破離のテーゼには、多くのチャレンジが待ち受けています。本会の組織的發展に関して、多くの困難な課題を抱えている事を、会員各位に認識していただき、さらに飛躍するために、一致団結して対処していかねばならないことをご理解していただく事が重要です。

本年度の第五回定時社員総会では、現在と未来において、本会が抱える様々な問題や、課題について討議されました。さらに、本年度の

主催事業、後援・協賛事業などが決議承認されました。又、第九回武道執行専門員会においても、武道の質と量に関する向上点について、貴重な意見交換がされました。本会の会員各位が、その目的趣旨を共に理解し共有する事によって、未来への変化を着実にもたらすことが必要です。

その最大の焦点は、高齢化少子化による日本社会全体の問題でもあります。会員が年々減少している事実を見極め、何らかの対応をしなければならぬという事です。会員人数は過去十年間で六十%以上の減少が観察されており、これからは社会的な人口問題などを考慮しますと、さらにこの傾向が顕著になると思われます。その状況の中、多くの教育機関や法人が、経営破綻の憂き目を見る事は必定です。我々の組織においてそれに対する効果的な最大の防波堤は、本会団体長各位の能動的な手腕にかかっているとされます。青少年を含めて全会員を増やすための具体的な対策を、是非真剣に考えていただき少しでも本会の未来の発展にご協力いただけることを切にお願い致します。

本会は今年の全国武徳祭において、優秀な古流武道団体の招聘演武を試みます。さらに近畿地方を中心として、大学に存在する古流武道団体の招待も検討いたします。これによって全国武徳祭が質と量において、新しく活気づき新鮮なエネルギーで盛り上がり、日本各地から武道を志し心から武道を愛する人達が集まり、武徳の高遠な倫理を共有することの大切さが培われることを期待します。これは未来の武徳

をビジョンとする大日本武徳会の始まりであり、躍動的な還新を目指す第一歩であると考えます。社会変動がとめどなく進行する中、本会はただその状況に甘んずることなく、能動的に活動していかなければ活路は見いだせないと考えますので、会員全員の皆様の熱意あるご協力を宜しくお願い致します。

次に我々が組織として直面する事として本会には、次世代に残す財産が人的並びに文化・歴史・知的財産以外に、なにもないという事実です。一九五三年に本会は、時の理事長でおられた大野熊雄先生の下で再発足しました。戦後の組織再編は想像をはるかに超える多くの先人達の熱意と努力によって実施され、二〇一一年まで任意団体の形態により存続してきました。任意団体の時代から現在に至るまで、事務所は全て賃貸で賄われてきており、総合的な賃貸料は膨大な額に及んでおります。私達はこの経済上の問題に終止符を打ち、事務所を含む武徳会館の前身となる施設を、京都市内に設置して、その施設の中に事務局、公文書図書館、資料展示室、会議室などを設け、次世代がそれらを保存継承していくことが大切であると考えます。本会が不動産を購入する事は、一九四六年にGHQの指令により武徳殿を含む全ての財産が没収されて以来、実に七十二年の歳月を越える試みとなります。本会は今年その武徳会館設立の初歩的な第一歩を踏み出すことにより、新しい歴史の始まりとする事を大きな課題であると考えます。従って、その為には会員各位の精力的なご賛同とご支援、ご協力が必要となります。本会の恒久的な発展のため、また次世代に引き継ぐ何かを残していく為に、何卒ご協力の程よろしくお願い致します。

次に武道の保存継承に関する課題であります。

近年、宗家や団团长が高齢化のために、現役からの引退や本会からの退会などが多数見受けられますが、これ等に関しても、是非会員継続をご検討いただきたいと考えます。現役から退かれた場合でも名誉会員として在籍していただき、退会という選択は出来るだけ取らず、本会の会員として残っていただきたいという趣旨をご理解願いたいと考えます。本会の歴史的発展を鑑みますと、著名な先生方の功績は、未来永劫に伝えていかなければならないという責務が本会にあります。名誉会員は主催行事に直接参加できなくても、間接的な貢献は多々出来ます。本会で長く貢献されてきた先生方は、本会の重要無形文化財であります。さらに次世代による世代の交代においても、その指導的な立場で啓蒙的な影響を及ぼす役割を担っていただきたく存じます。過去の武道家も現在未来の武道家も本会では大きな武徳の絆で結ばれた同志でありますので、退会は出来るだけ最後の選択として考慮していただき、名誉会員として永久に、武徳精神の要になっていただきたいと願います。

そして、本会は常に未来に焦点を定めて、その実現に向けて現在における努力を惜しみません。二〇二〇年の競技スポーツの世界的祭典である東京オリンピックの年に、本会は日本伝統武道の世界的祭典として、第6回世界武徳祭を実現すべく努力していきます。これに向けて一層の準備を進めて参りますので、会員各位の情熱的なご賛同とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に皆様方のご健康とご多幸を祈りますと共に、本会の総合的な発展のためにご尽力、ご協力、ご支援いただきました全ての皆様方、心から厚くお礼申し上げます。



第五回定時社員総会 及び
第九回武道執行専門委員会

日時 平成三十年二月四日（日）

場所 新都ホテル 末広の間

第五回定時社員総会



第九回武道執行専門委員会







第二十二回

全国青少年武徳祭

日時 平成二十九年九月十八日(月・祝) 午前十一時三十分

場所 京都市旧武徳殿

主催 一般社団法人大日本武徳会

後援 京都府・京都市

大会次第

進行 藤井正巳

■ 平安神宮 ■ 平安神宮祈願祭 午前11時00分より

修玉奉	申納	拝演	祓	濱田鉄心
			礼武	
			居合道 こばと修童館 空手道 正守和道塾	

■ 開会式 ■ 午前11時30分

役員選手入場 太鼓の合 開会宣言 国歌斉唱 黙祷・チャイム 団体最優秀杯返還式	大会開会式 選手宣言 武上の心がけ いの儀	辞	東伏見 慈 晃 森本 敢 太 濱田 鉄 心	
		誓		
		居合道 至誠館		渡邊 大也
		空手道 日本古式武道協会 拳正会		宮前 翔馬

こばと修童館

■ 演武 ■ (昼休憩：12時30分～13時15分)

演納	め	の	武儀	福本 誠 英 藤原 芙綺子 鹿子木 美 海
			居合道 日本古武道 武公館道場	
			空手道 武学館 空手道 日本古式武道協会 拳正会	

■ 閉会式 ■

役員選手整列 表彰評辞 閉会宣言	会	の	合	閉会宣言	役員全員 中田浩大 濱田鉄心 上村雅彦 竹田 豊	
						会
						会

自分の課題と向き合うこと

こばと修童館 中学校一年 中田 花

私は、今年の八月にフランスで行われた国際青少年武徳祭に参加しました。フランスではたくさんの方の参加者の中で、緊張はしたけれど稽古を繰り返してきたことが実って団体で最優秀賞をとることができました。それでも完璧な演武はできませんでした。そこで自分に足りないと思う部分が課題として出てきました。それは目線の向け方と刀のさばき方でした。今回、京都でフランスの時よりもすばらしい演武ができるようにさらに稽古を積み重ねてきました。フランスでできていなかった部分を何度も稽古し本番ではフランス大会の課題だった部分をしっかりと頭に入れながら演武をしました。少し緊張していてもうまくできなかったところもあつたけれど、自分の精一杯を出し切り、自分の納得いく演武をすることができてよかったです。そして、団体では優秀賞、個人でも優秀賞というすばらしい賞をもらうことができました。これまで団体で賞をもらったことはあつても個人で賞をもらうことができたのは今回が初めてでとてもうれしかったです。自分なりに課題を克服しようと思つていいます。それでもまだまだ改善できることやもっと上を目指すことができると思うので、日々努力をすることを大事にしていきます。次の機会にはもっと成長した自分を居合で

見せられるように常に課題と向き合いながら稽古に励みたいと思つています。そして、二十二年には京都で世界大会があると聞いているのでそこで最優秀賞をとることを目標にして頑張りたいと思つています。何度も繰り返し、注意を払うことで自分の得意な部分ができるようになるというところは居合だけではなく、色々なことにも通じると思うので、この経験を生かして何事にもチャレンジしていきたいと思つています。

ぼくと居合道

こばと修童館 山本 建太

ぼくが「こばと修童館」で居合道を習い始めたのは小学一年の時です。初めてけい古した時は木刀が重くてとても驚きました。でも大きな声を出したり気持ちを集ませたりすると少しずつ慣れて行きました。それから、暑い日も寒い日も特別な用事がある日以外休まずに頑張り続けました。なぜなら、けい古をしてくれる先生たちがぼくのやり方が間違っていたら厳しくて、出来ていたらほめてくれる指導してくれてからだと思つています。

そしてそのおかげで、ぼくが習い始めた頃に上手でかつよかった上級生に今は心も技も近づいている気がします。そして、何よりも「青少年武徳祭」という歴史がある場所に立つて、みんなと気持ちを一つ

にする事で自分が持っている力を全部出せたことが一番うれしかったです。でも本当は、色々な武道を習っている人達の自信がある姿をたくさん見たらすごく緊張しました。それでもみんな同じ気持ちだと思つたら不思議と心が落ち着き楽になりました。家の人にその話をすると

「日ごろの鍛錬の成果が出たんだよ。」

と、言われました。鍛錬とは、体力・精神力・能力を鍛えて強くすることだそうです。ぼくは、知らない間にそんな見えない力がついたらのはやっぱり居合道を続けてきたからなのかなと思いました。

ぼくが五歳の時に病気で死んだじいちゃん、長い間小学生に剣道を教えていました。もし生きていたら、ぼくが居合道をずっと続けていることと京都に行つて「青少年武徳祭」で『個人努力賞』をもらえたと言つたら一番喜んでくれたはずだと思います。

この賞は、先生と一緒に練習して来たみんなの力で取れたと思うのでこれからみんなに感謝したり賞に恥ずかしくない人になっていきます。

青少年武徳祭

こばと修童館 中野 竜之介

九月十八日月曜日、第二十二回全国青少年武徳祭がありました。僕

は小学一年生から居合道を始め、五年生の時に初めて武徳祭に参加する予定でしたが、昨年は台風で大会が中止になり参加することができませんでした。なのでこの武徳祭は、僕の最初で最後の大会になりました。

向かうバスの中で、ハンドスピナーを回していたら少し緊張がほぐれました。でも大きな大会なのでやっぱりとても緊張しました。自分の出番が近づくとつれてどんどん緊張してきました。

僕たちの出番は三番目でした。僕たちの前に演武をした人達の気合いがすごくてびっくりしました。でも声は出ているけど少しバラつきがあると思つたので、こばと修童館のみんなと力を合わせようと強く思いました。

いよいよ僕たちの出番がきました。一番年長の横井くんと組太刀(くみたち)をしました。順番も間違わず、大きな声も出せたので良かったです。

最後の表彰式で、個人最優秀賞を、こばと修童館の横井くんが取つたのですごかったです。僕は賞をもらえるか心配だったけれど、三番目にすごい個人奨励賞をもらったので良かったです。こばと修童館は団体で三位でした。

バスに乗って帰る時、今日あった出来事をふりかえっていました。僕はこの大会が最初で最後の大会だったので、三位という結果がすごく良かったです。でも最後の大会でベスト3に入ることが出来たのですごくうれしいです。

これから初段を取れるようにもつと居合道をがんばりたいです。



秋季高段者審査会

日時 平成二十九年九月三十日(土)

場所 京都市武道センター・旧武徳殿

主催 一般社団法人大日本武徳会



高段者審査会 合格者

居合道

六段 木下賢司

七段 杉生 蘭 祐

古武道・弓術

七段 北川 茂



第二十五回

平安神宮奉納古武道演武大会

日時 平成二十九年十月一日(日)

場所 平安神宮「額殿」

主催 一般社団法人 大日本武徳会

大会次第

◎ 平安神宮祈願参拝 午後12時より

玉串拝礼 桑原兵充

◆◆◆ 開会式 ◆◆◆ 午後12時30分

司会進行 大会進行委員長 藤井正巳

① 開会宣言 大会実行委員長 竹田豊

② 開会挨拶 大会会長 桑原兵充

③ 演武上の注意 大会検証委員長 山本楠城

④ 祓いの儀 居合道 錬士六段 小松秀敏

◆◆◆ 演武 ◆◆◆

*時間の都合上、演武時間は7分以内とする。試斬りは4本以内とする。

◆◆◆ 閉会式 ◆◆◆

① 納めの儀 居合道 教士七段 石本一平

② 講評 大会検証委員長 山本楠城

③ 閉会挨拶 大会委員長 濱田鉄心







第二回

青龍殿国宝青不動明王
奉納古武道演武大会

日時 平成二十九年十一月十二日（日）午後一時

場所 青龍殿・大正武徳殿（將軍塚）

主催 一般社団法人 大日本武徳会

大会次第

◎ 青龍殿御祈願 午後1時より

◆◆◆ 開 会 式 ◆◆◆

	司 会 進 行	大会進行委員長	藤 井 正 巳
①	開 会 宣 言	大会実行委員長	竹 田 豊
②	開 会 挨拶	大 会 会 長	東伏見 慈 晃
③	演武上の注意	大会検証委員長	山 本 楠 城
④	祓 い の 儀	居合道 錬士六段	小 林 信 之

◆◆◆ 演 武 ◆◆◆

*時間の都合上、演武時間は7分以内とする。試斬りは4本以内とする。

◆◆◆ 閉 会 式 ◆◆◆

①	納 め の 儀	居合道 範士八段	伊 藤 學
②	講 評	大会実行委員長	竹 田 豊
③	閉 会 の 辞	大 会 委 員 長	濱 田 鉄 心





支部だより

平成二十九年

大阪府支部武道研修会開催さる

大阪府支部 村田 雅人

一般社団法人大日本武徳会大阪府支部武道研修会が平成二十九年十一月二十六日(日)に大阪、住吉大社境内住吉武道館、剣道場、柔道場にて開催されました。

住吉武道館剣道場において、村田雅人支部長の開会の挨拶に始まり、ご高齢にもかかわらず毎回ご参加を頂いております大日本武徳会副総裁桑原兵充先生の心のこもったご祝辞を賜りました。次にご来賓公益財団法人住吉名勝保存会住吉武道館館長、東郷信行先生より温かい励ましのご祝辞を頂きました。また、本部を兼ねて山本楠城先生のご参加を頂いております。今回は、大阪府支部による昇段審査を行います。以前にも行いましたが、昇段審査も大阪府支部の活動活性化の一環として会員の積極的参加を期待しております。

さて、演武は神田派虚心流居合道 佐野晃一先生の祓いの儀に始まり、桑原兵充先生、高島伸幸先生による心伝流柔術の模範演武が行われました。特にいつもながらの桑原兵充先生のご高齢を感じさせない入神の演武に誠に襟を正す思いでありました。また、北野隆雄先生はじめ武徳和魂会ご一門により心伝流柔術の見事な演武が粛々と披露されました。また、八名の小学生による柔術の演武が行われました。誠に指導宜しきを得、基礎のしっかりした演武、将来の柔術界を担う人材が育つことを心より念じております。続いて居合剣術の部に移り、村田雅人一門による無双直伝英信流居合演武を皮切りに山本勇先生らによる虚心流居合剣法、剣道立合がなされ、続いて山本楠城先生らによる虚心流居合剣法・各稽古が行われました。打合による緊張感あふれる立派な演武でございました。次に、神伝円心流の先生方による居合組討兵法が披露されました。誠に錬度の高い演武でございました。続きまして尾ノ上克己先生による無双直伝英信流居合道演武がなされました。年齢を感じさせない鋭い太刀筋でございました。さらに、神田派虚心流居合道 佐野晃一先生のなめらかな鋭い立派な演武がなされ、続いて誠慧塾 樋口友視先生ご一門による無双直伝英信流居合が披露されました。大きなメリハリある演武で伝系を墨守する結構な居合でございました。続きまして、素心流居合抜刀術 宮園國男先生ご一門による試斬演武がなされました。複数の巻畳をいくつも同時に斬

るダイナミックな演武であり驚きの目を以て拝見いたしました。大変なご準備、ご足労をおかけしましたこと感謝申し上げます。次に修武会による居合剣術が演武されました。いつもながら良くそろった錬度の高い立派な演武でございました。

今回は無双直伝英信流居合の昇段審査を柔道場にて行いました。審査員は支部評議員 尾ノ上克己先生、同 佐野晃一先生にお願いし、総合評価を支部長 村田雅人といたしました。審査結果は全員合格の判定であり受審者 岸川康子氏を三段合格といたしました。

最後に尾ノ上克己先生による立派な納めの儀により武道研修会を終了致しました。

なお、今回の参加者数は四十五名(内、青少年十名)でございました。

一般社団法人大日本武徳会の発展と各位の武徳に栄光あらんことを祈念申し上げます。乱文ご容赦下さい。



2017年秋季号におきまして写真の誤掲載がございました
謹んでお詫び申し上げますと共に、再掲載させていただきます

道場活動だより

流派昇段級審査会 及び全体稽古会を終えて

一心無双流居合道剣心会

総師範 山田 文典

十月二十八日、滋賀県浅井B & G体育館におきまして、流派昇段級審査会及び全体稽古会を開催致しました。台風で自宅が被災した者の欠席がありました。ほぼ全員が集合しました。今年も名誉師範前田誠先生に出席頂き祝辞を頂戴しました。

写真はその時のものです。

流派居合道を継承する各道場が一同に会するのは、年に一度のこの機会とあって開催前から凜とした雰囲気がありました。

今年も、受験者四人、この中には今年の少年武徳祭に参加した小田朱乃剣士が二段に挑

戦し堂々の演武を見せたり、入門者の初受審があつたりと充実したものでした。

全体稽古会は、各道場ごとの演武発表といりました。これは道場ごとに形のわずかの違いも生じさせない目的も有り、各道場の指導者の一番緊張するところではなかったかと思えます。十一代宗家故毛利友彦元春先生から伝授されました形を、正確に次世代に繋げることが私の使命だと考えております。

体調が優れず休会している方や、退会した方が数名おられ、会員の増加が進まぬ中、今年の審査会にも入門希望者の見学もありました。閉会后、熱心に質問される方もあり、量にこだわらず質の向上が必要であるとも考えます。今回の催しを通じ、当会を真に古武道を愛する会にすべく、全力を傾注する決意を新たにいたしました次第です。

濱田鉄心代表理事先生はじめ各先生方の御指導よろしくお願いいたします。



平成三十年度

青少年たちの初稽古

至誠館 渡邊 佳代子

新玉の年の始めの平成三十年一月三日、大阪府中央区に御鎮座する難波神社に於いて、初稽古ならびに奉納演武を執り行いました。

午前九時、師範はじめ会員は参集殿に集合し、着装。会員は速やかに整列して手水舎に向かい、順次手水にて、身を浄め、拝殿にて荘厳ななか道場の繁栄と会員の安全が祈られました。祝詞奏上に続き、道場の青年部・少年部のそれぞれの代表者によって道場訓ならびに誓いの言葉が述べられ、会員一同は言霊込めて大きな声で元気に力強く唱和しました。共々に今年一年の目標と誓いを掲げ、一人一人が玉串の取り取りに祈りを込めて拝礼いたしました。

宮司様から人生の先輩としてお言葉を賜り、日本人として伝統文化武道を継承する尊さをご教示くださいました。

神事に続き、寒風荒ぶ雪舞う庭上において、初詣の参拝者に見守られ、事始め奉納演武をさせて頂きました。とても寒い時折雪がちらちらと舞うなか、館長藤井正巳より新年の挨拶があり、国歌斉唱し演武に移りました。祓いの儀は渡邊佳代子教士と渡邊大也初段が務め、青少年部による団体演武、成人部による団体演武、青少年の剣術を奉納



し、納めの儀を平松男教士と野本真由初段が務め閉会しました。子ども達の元気なかけ声に思わず足を止め演武を見て下さった参拝の人々から拍手を受け、子ども達のモチベーションが上がり気迫ある演武を奉納することができました。